

5 京都工芸繊維大学

Kyoto Institute of Technology

グランデルフィーノ

Grandelfino

<http://www.grandelfino.net/>

高みをめざして



今回の総合結果・部門賞

●総合2位 ●ICV総合優秀賞2位 ●静岡県知事賞 ●日本自動車工業会会長賞 ●コスト賞2位 ●スキッドパッド賞2位 ●最軽量化賞(ICV)2位

Profile チーム紹介・今までの活動

グランデルフィーノは、2006年度に京都工芸繊維大学で「学生と教員の共同プロジェクト」として採用されました。その後2007年より全日本学生フォーミュラ大会に参戦し、活動を行ってきました。活動9年目となる2015年度は、総合3位を目標として1年間活動を続けてきました。

Team-member チームメンバー

福田 祐貴 (CP)

太田 稔 (FA)、射場 大輔 (FA)、小牧 靖昌 (FA)
清水 祐聡、高田 康裕、林 亮夫、中辻 耕太郎、
柳田 謙一、永井 優太郎、白井 哲、守田 健一、
赤堀 俊輔、川端 千加良、松山 ひかる、徳永 和弥、
宮岡 伸行、竹濱 馨、長谷川 滉一、三宅 貴士、
板谷 真宏、石原 悠真、磯部 佳明、上田 雅大、
富井 啓介、中田 佑南、野淵 頌平、松井 隆典、
南 亮丞、吉岡 広平、吉村 友汰、和田 夏未、
河野 雄哉、筒井 裕介、畠中 美穂、光山 容正、
柳川 健二、吉川 聖哉

Presentation

プレゼンテーション

京都工芸繊維大学 Grandelfino は従来の小型・軽量というパッケージングを引き継ぎ、ウイングの無いシンプルな車両の性能を限界まで引き出すべく設計・開発を行ないました。

昨年度エンデュランス上位チームのタイムを自分達で設定した各セクションで比較すると、比較的大きい半径の高速で回るコーナーにおいて差をつけられていることがわかりました。その原因がコーナリング時の車両挙動にあると考え、2015年度は「中高速コーナーにおけるコーナリング姿勢の追求」をマシンコンセプトとしました。

2014年度車両 GDF-09 からはホイールベース延長を軸に車両のアップデートを行ないました。また同時に、マシン完成時の質とマシン完成からの走行量の両立を狙って5月2日にシェイクダウンを行ないました。例年は4月1日にシェイクダウンを行っており、時期を遅らせることには不安もありましたが、狙いどおり完成度の高い車両でシェイクダウンを行なうことができました。これにより、例年よりシェイクダウンを遅らせたにも関わらず、大会までに過去最高の走行距離を稼ぐことができました。また十分に走行を重ねたため、各種目に合わせた車両のセッティングを出すことができました。小さなマシントラブルには度々見舞われましたが、その都度改良を加えていき、最終的には GDF-10 は歴代でもトップレベルの速さで大会に臨みました。

Participation report

参戦レポート

今年度は総合3位を目標に大会に挑みましたが、結果は総合2位となり、目標を達成することができました。大会初日の車検では、車検員の方から数ヶ所指摘がありましたが早急に対応し、無事技術車検を初日に通過することができました。2日目の静的審査において、コスト審査では例年以上にリソースを割きコストレポートを充実させたおかげで過去最高の2位という結果を得ることができ、来年度への自信となりました。デザイン審査とプレゼンテーション審査は得点こそ伸びましたが目標には届かず、実力不足を痛感しました。

3日目のアクセラレーション、スキッドパッドはどちらも好成績を収めることができました。特にスキッドパッドに関しては例年より練習に時間を割いたことが功を奏し、2回生の新人ドライバーが2位という好タイムを残してくれました。エンデュランスでは不要なペナルティもあり5位という結果となりました。

総合3位という目標を達成することはできませんでしたが、総合優勝したグラーツ工科大学には圧倒的な差を見せつけられ、他の国内チームと比較しても動的審査、静的審査共に劣っている点は多々あります。今後は更なるステップアップを図り、文句なしの総合優勝をすることが目標となります。大変難しいことではありますが、目標達成に向けて頑張ってください。

最後になりましたが、チームを支えていただきましたスポンサー様、大学関係者様、OBの方々、また大会運営に尽力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

Sponsors スポンサーリスト

ITW PP&F Japan、イグス、ウミヒラ、AVO/
MoTeC Japan、エクセディ、NTN、OXISO、キノクニ
エンタープライズ、木下商店、京都帝酸、京都ホイール
センター、協和工業、近畿レンタカーサービス、サイバネ
ットシステム、ジーエーティー、JFEスチール、ジェイテクト、
SHORAI、スズキ、住友電装、大東ラジエーター、タカ
タサービス、ダッソー・システムズ、タマディック、丹後機
械工業協同組合、タンゴ技研、D.I.D、THK、東日製
作所、ニコルレーシング、日昌製作所、日信工業、コフコ、
日本ヴァイアグレード、NUTEC-JAPAN、ハイレックスコー
ポレーション、HILLTOP、琵琶湖スポーツランド、
PHOENIX's POWER 京都店、深井製作所、富士精密、
plusμ、projectμ、松田精工、松本金属工業、ミスマ

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/5.html>